

(医療入門)

ケアマインド教育

P-01-16-L

オーガナイザー

教育研究開発センター	教授	村田	顕也
保健看護学部	教授	橋爪	洋
保健看護学部	教授	池田	理恵
薬学部	教授	須野	学
教育研究開発センター	准教授	谷本	貴志
教養・医学教育大講座 哲学	准教授	竹山	重光
教育研究開発センター	講師	佐々木	洋子
教育研究開発センター	助教	森め	ぐみ
薬学部	助教	伊藤	雄大

I 授業の目的

医療人を志すものとして知識・技能の習得のみならず、病める人の視点で考えられる人間形成を目指す。また、医療を取り巻く社会制度を知ることにより、個々の患者の社会的背景、支援の状況についての理解を深める。本講義は、医学部・保健看護学部・薬学部の共通講義である。多職種連携教育を通して相互理解を深め、患者中心の医療を行うための各自の役割を学ぶ。

II 到達目標

1. 医療において病める人の視点で考えることの重要性について述べることができる。
2. チーム医療の状況、重要性について述べるができる。
3. 患者個人として疾患の受け取り方、対応の仕方に多様性があることを説明できる。
4. 疾病の罹患に伴う精神的、経済的、社会的負担を、体験を通して説明できる。
5. 疾患の対応、支援について多くの職種が関わっていることを述べるができる。
6. 患者のみでなく、患者の家族への対応、支援の方法について述べるができる。
7. 疾患について、医学的な支援の状況と限界について述べるができる。
8. 疾患について、地域社会や行政からの支援の状況について述べるができる。
10. 薬害について理解し、支援について述べるができる。
11. 障害者医療や地域・僻地医療の現場での取り組みについて説明できる。について述べるができる。
12. 神経難病・遺伝性疾患を有する患者の在宅医療の問題点について述べるができる。

III 講義項目と担当者

1. 本年度の講師については、患者および患者の会、福祉行政、司法、地域医療の実務者にお願いする予定である。詳しい内容については別途明示する。
2. Early Exposure (EE)
和歌山県下の医療施設で現場の医療を体験し、その内容を報告会で発表する。
EEは、黒潮医療人養成プロジェクトのアクティブラーニングコース（地域総合診療コース）の内容を含んでいる。参加対象者や期間・予定施設については別途明示する。

IV 学習および教育方法

教員による疾患の概略講義後、①患者本人・家族による疾患に関する体験談 ②患者を支援する人々の考えを話していただく。グループワーク (GW) では医学部・保健看護学部・薬学部学生混合のグループ分けを行い、グループ毎にテーマを設定し自己学習・発表・討論を行う。

V 評価の方法

科目成績評価は、①授業態度 (EEを含む) (20%)、②各講義やGWで課されたレポート・EE感想文 (30%)、③GWや早期体験実習報告会 (R7.9.3 予定) での発表内容や振り返りレポート (50%)により評価する。学生もEEやGWでの発表内容の評価に参画する。

卒業時 コンピテンシ	1 基盤的 資質				2 医師 としての 基本的 資質			3 コミュ ニケー ション能 力		4 医学的知識										5 医学の実践										6 医学的(科学 的)探究				7 社会 貢献								
	問題解決型能力	情報技術	語学能力	社会人として的一般教養	倫理観	チーム医療	自己啓発	人間関係の構築	情報交換	細胞の構造と機能	人体の構造と機能	人体の発達、成長、加齢、死	疾病の機序と病態	検査・画像診断技術	基本的診察知識	疾病の診断・治療方法	ITなどの利用	生物統計・疫学	行動科学・医療経済	法令、研究倫理	患者尊厳	基本的臨床技能	臨床推論・検査所見・画像診断	診療録作成	治療選択	救急医療	緩和・終末期・看取りの医療	介護と在宅医療	患者説明	医療安全・感染予防	予防医学	副作用・薬害	副作用・薬害	和歌山県医療	保健制度	基礎医学研究	臨床医学研究	社会医学研究	研究成果の公表	研究倫理の実践	地域貢献	福祉活動
	B	B	F	B	C	B	B	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	E	D	D	F	F	F	F	F	D	F	F

講義日程表

No.	月日	曜日	時限	項 目	担当教室	担当
1	R7.5.13	(火)	4	オリエンテーション・GW	3 学部合同	村田・橋爪・須野
2	R7.5.13	(火)	5	オリエンテーション・GW	3 学部合同	村田・橋爪・須野
3	R7.5.20	(火)	4	セルフメディケーション(講義・GW)	薬学部	須野・伊藤
4	R7.5.27	(火)	4	セルフメディケーション(GW)	薬学部	須野・伊藤
5	R7.6.3	(火)	4	セルフメディケーション(発表)	薬学部	須野・伊藤
6	R7.6.10	(火)	4	薬害 B 型肝炎(講義)	医学部	村田・谷本・佐々木・森
7	R7.6.24	(火)	4	薬害 B 型肝炎(GW)	医学部	村田・谷本・佐々木・森
8	R7.7.1	(火)	4	薬害 B 型肝炎(学生による発表1)	医学部	村田・谷本・佐々木・森
9	R7.7.8	(火)	4	薬害 B 型肝炎(学生による発表2)	医学部	村田・谷本・佐々木・森
10	R7.7.22	(火)	4	小児薬物療法ケア(講義)	薬学部	須野・伊藤
11	R7.10.7	(火)	4	違法薬物(講義)	薬学部	須野・伊藤
12	R7.10.14	(火)	4	ダウン症(講義)	医学部	村田・谷本・佐々木・森
13	R7.10.21	(火)	4	がん:患者や家族が求める安心感(講義)	保健看護学部	池田
14	R7.10.28	(火)	4	がん:患者や家族が求める安心感(GW)	保健看護学部	池田
15	R7.11.4	(火)	4	臓器移植(講義)	保健看護学部	橋爪
16	R7.11.11	(火)	4	臓器移植(GW)	保健看護学部	橋爪・池田
17	R7.11.18	(火)	4	視覚障害者の世界(講義)	保健看護学部	池田